

# (報告) ユーザー理解活動の取組状況

公益財団法人 自動車リサイクル促進センター

2022年9月30日

## 《目次》

1. 2022年度ユーザー理解活動の計画	.....	P2
2. ユーザーを対象としたアンケート調査結果	.....	P5
3. 地域ユーザーを対象とした普及啓発の取組み	.....	P7
4. 小学生等を対象とした学習支援	.....	P8
5. 若年層を対象とした現場見学会を開催	.....	P9
6. 若年層を対象とした自動車教習所での取組み	.....	P11
7. 音・映像による関心を得る取組み	.....	P12
8. 第5回「クルマのリサイクル作品コンクール」入賞校への訪問表彰	.....	P13
9. 活動費の執行状況(第1Q)	.....	P14

# 1. 2022年度ユーザー理解活動の計画 その1

## 【目的】

- 2021年7月自動車リサイクルに関する合同会議（産業構造審議会、中央環境審議会）の「自動車リサイクル制度の施行状況の評価・検討に関する報告書」の提言に基づき、幅広い観点からユーザーの理解を促進するため、関係者間の連携を促進しつつ、より透明性の高い情報発信を行う。また、ユーザーと事業者間の円滑な取引に寄与するため、「情報の非対称性」を緩和すべく、制度におけるユーザーの役割について普及啓発に取り組む。

## 【活動方針】

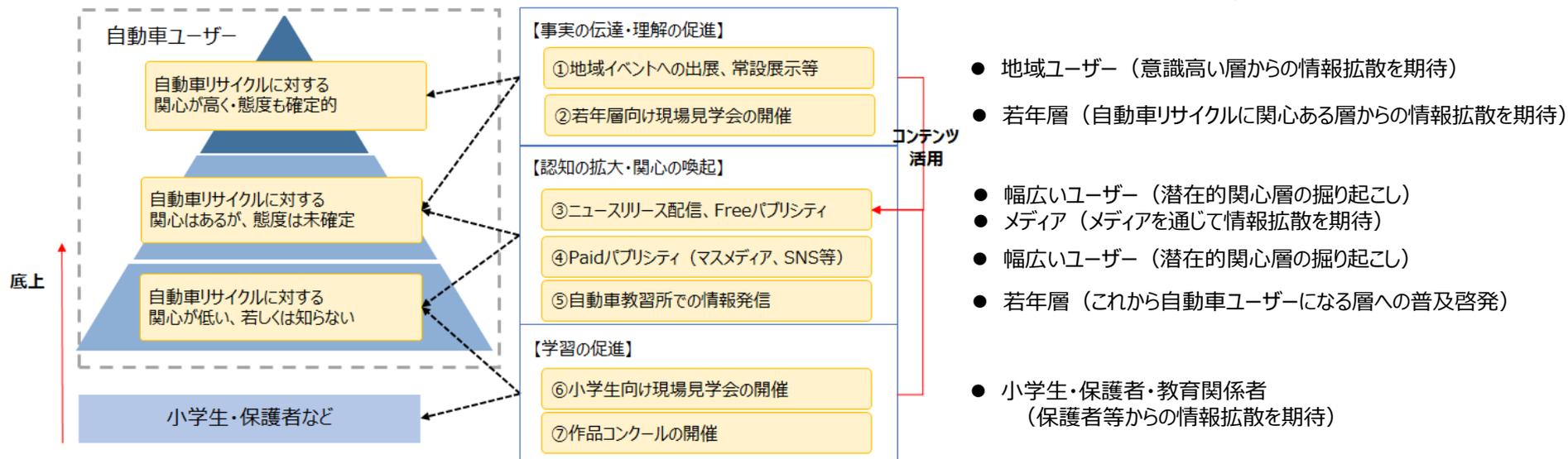
- 地域・年齢などのターゲットの特性を意識するとともに、コスト効率が良い手法を用い、ユーザーにとって利便性が高く、質の高い情報を発信する。
- ユーザーが自動車リサイクルの「現場・現物・現実」に接する機会を創出・拡大することにより、「認知拡大」・「関心喚起」に向けたこれまでの取組みに加え、ユーザーの行動変容にも資する「理解の深化」にも力点を置いて情報を発信する。

## ユーザーの関心・態度に合わせた展開図

<自動車リサイクルへの関心・態度>

<施策例>

<ターゲット>



# 1. 2022年度ユーザー理解活動の計画 その2

## 各種施策とターゲットの関係

取組みの目的	施策例	主なターゲット					
		～10代	20代	30代	40代	50代	60代～
<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 地域ユーザーの知る機会の創出</li> <li>➤ 地域ユーザーの認知拡大・関心喚起</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 地域イベントへの出展</li> <li>▶ 常設展示施設への出展、他</li> </ul>	● ●	● ●	● ●	● ●	●	●
<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 小学生の学びの機会の創出</li> <li>➤ 小学生の保護者・教育関係者の認知拡大・関心喚起</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 関係者の努力・工夫を紹介</li> <li>▶ 学校教育に役立つ情報を提供</li> <li>▶ 作品コンクールを開催、他</li> </ul>	● ● ●		● ● ●	● ● ●		
<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 若年層の知る機会の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 自動車教習所での情報発信、他</li> </ul>	●	●				
<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 若年層の学びの機会の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 関係者の努力・工夫を紹介、他</li> </ul>	●	●				
<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 各施策の相乗効果を高める</li> <li>➤ 幅広くユーザーの認知拡大・関心喚起</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ニュースリリースの積極配信</li> <li>▶ マスメディア、ネットメディアを通じて音・映像を配信、他</li> </ul>	● ●	● ●	● ●	● ●	● ●	● ●

# 1. 2022年度ユーザー理解活動の計画 その3

## 活動スケジュール

#	施策例 (一例)	ターゲット例	1Q	2Q	3Q	4Q
1	<b>【取組み改善】</b> 地域イベントを活用した普及啓発	学生・青少年・その保護者 教育関係者 環境に関心ある層		★ 函館市 ★ 秋田市 ★ 金沢市 ★ 名古屋市 ★ 広島市	★ 北九州市 ★ 福岡市 ★ 東京 ★ 京都市	<b>10か所出展</b>
2	<b>【取組み改善】</b> 常設展示施設を活用した普及啓発	学生・青少年・その保護者 環境に関心ある層 教育関係者	(東京) 科学技術館 (大阪) おおさかATCグリーンエコプラザ		 	※ポスター展示イベントを開催、展示内容の見直しを進める
3	<b>【新規】</b> 運転免許センター等を活用した普及啓発	運転免許を更新する方々		 現在協力いただいている <b>神奈川県警察運転免許センターの成功事例</b> を下にし、 拠点拡大に向けて各方面と調整を進める。		
4	<b>【取組み改善】</b> 小学生やその保護者を対象とした施策を通じた普及啓発	小学生・その保護者 教育関係者 地域メディア	新聞社選定  個別表彰実施 <b>3か所訪問</b>	記事制作・展開 小学校等への展開 <b>6か所実施</b> 	コンクール開催、作品募集 応募作品の審査  現場見学会を実施	 ★ 表彰式
5	<b>【取組み改善】</b> 自動車教習所を活用した普及啓発	若年層 (18~30歳)	新動画制作 大手250か所で動画配信	<b>16万回配信</b>	目標: <b>11,000件超</b> 	<b>75万部展開</b>
6	<b>【新規】</b> 若年層を対象とした現場見学会等	若年層 (18~30歳)	事業者選定・関係者との調整	現場見学会 (5か所) + α <b>5か所実施</b>		
7	<b>【新規】</b> Radikoの活用 デジタルの活用 <b>【取組み改善】</b> BS波での配信 地上波での配信 等	幅広ユーザー 特定ユーザー ※特性に応じて情報	制作会社選定 	ラジオ音源制作 BS波、地上波・ラジオ、Youtube等にて配信 デジタルメディアを活用した施策 (Google、Yahoo!、Twitter等)	<b>述べ接触者数 1億5千万人</b>	

## 2. ユーザーを対象としたアンケート調査結果

- ユーザーを対象としたアンケートの結果、ユーザーの自動車リサイクルについての認知度は**約73%**(前年75%)。
- その内、「自動車購入時にリサイクル料金を支払うことを知っている」と回答した方の割合は**約72%**(前年74%)。  
※詳細は、「自動車ユーザーへのアンケート調査結果」をご参照。(URLは [こちら](#) )

### (1) 調査の概要

#### 1) 調査の対象

- ・過去3ヶ月以内に自動車を購入した全国18歳以上の男女

#### 2) 調査の方法

- ・本財団の委託事業として、株式会社インテージが実施
- ・調査会社のパネルから無作為に抽出
- ・インターネット調査方式
- ・調査期間は2022年5月17日(火)から22日(日)

#### 3) 調査の内容

ユーザーの自動車リサイクル制度への関わり方について4点

- ①ユーザーの自動車リサイクルについての認知状況
- ②自動車購入時におけるユーザーの関わり方
- ③中古車売却時におけるユーザーの関わり方
- ④廃車時におけるユーザーの関わり方

#### 4) 回答者の属性

- ・年齢別運転免許保有割合(出典：令和3年度警察庁)を参考にした割付を実施。サンプル数は合計1,663件。
- ・回答者1,663人の63%が過去3ヶ月以内に新車を購入。37%が中古車を購入。

### (2) 結果の概要

#### ①ユーザーの自動車リサイクルについての認知状況

回答者の内(1,663人)、「自動車リサイクルの仕組みを知っている」または「名前を聞いたことがある」と回答した方は73%。  
その認知者の内、自動車購入時、リサイクル料金を支払うことを知っている方は72%。リサイクル料金の用途を知っている方は33%。

#### ②自動車購入時におけるユーザーの関わり方

回答者の内(1,663人)、自動車購入時、リサイクル料金を支払ったことを記憶している方は64%。また、自動車購入時、リサイクル料金の説明を受けたことを記憶している方は38%。

#### ③中古車売却時におけるユーザーの関わり方

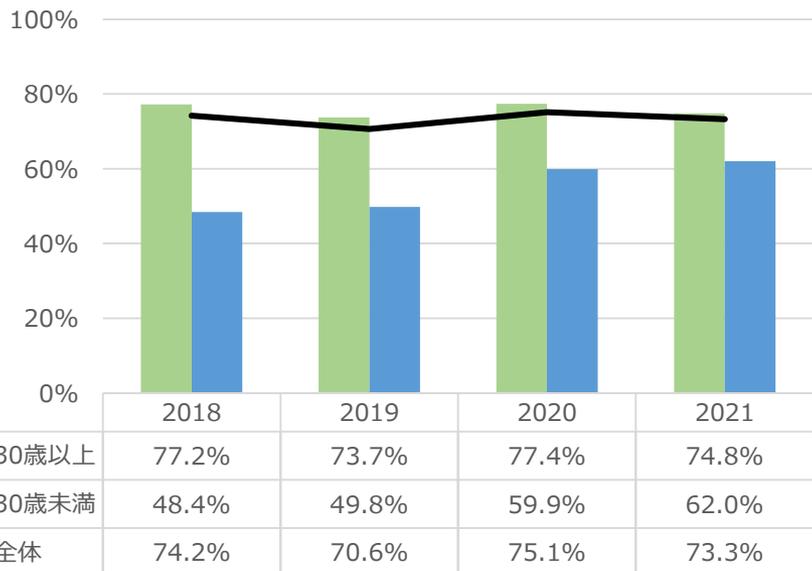
売却時(713人)、自身の自動車にリサイクル料金が支払われていたことを記憶している方は49%。  
その記憶者の内、中古車売却時、相手から「リサイクル料金相当額」を受け取ったことを記憶している方は42%。

#### ④廃車時におけるユーザーの関わり方

廃車時(143人)、引き取りを依頼した相手から「使用済自動車引取証明書」の交付を受けたと回答した方は26%。

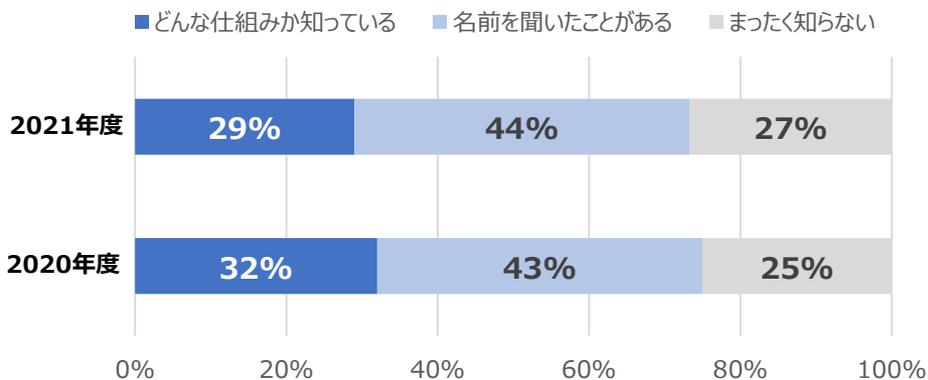
### (3) 参考情報

#### ユーザーの認知度の推移

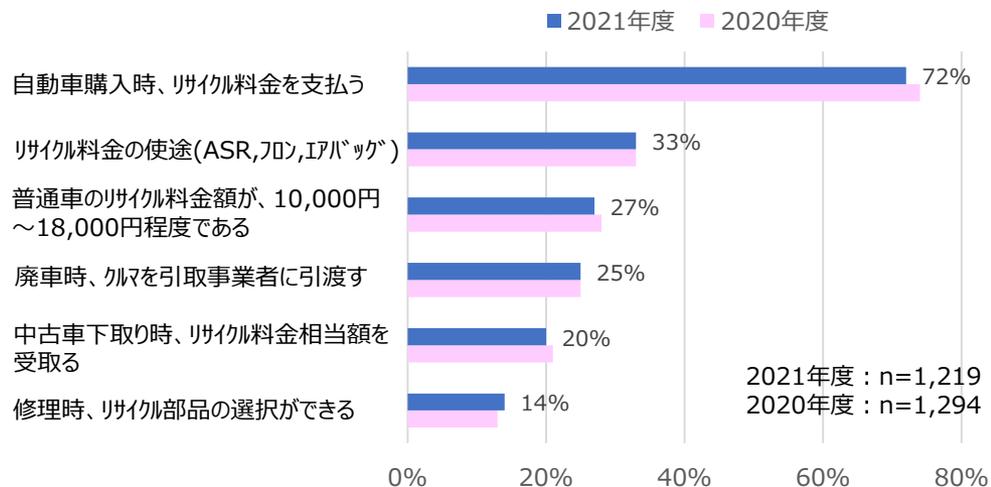


#### 認知度に関する設問と回答結果

(設問) あなたは、2005年から施行された「自動車リサイクル制度」をご存知ですか。

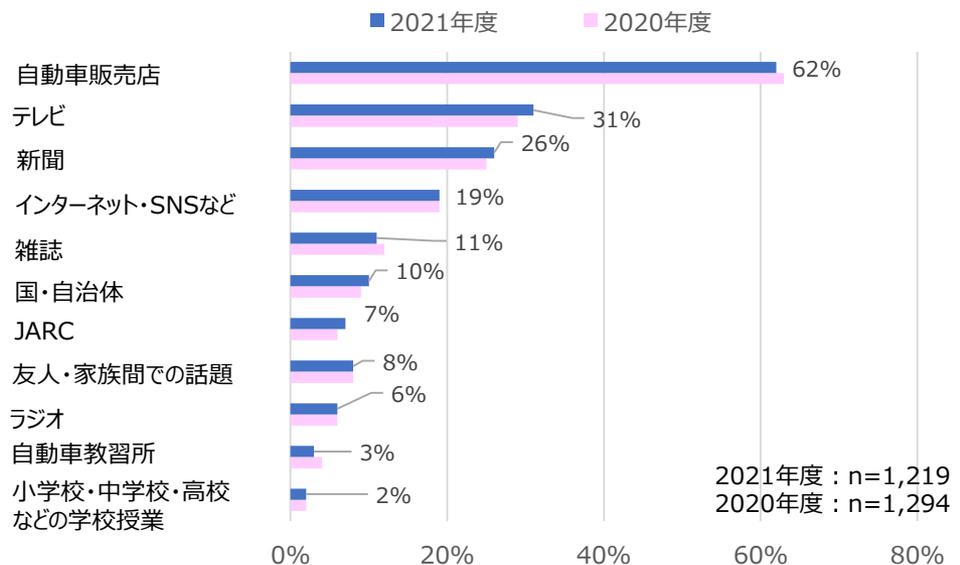


#### 自動車リサイクルについて知っている内容例



#### 自動車リサイクルを知った認知経路

(設問) 自動車リサイクル制度のことを知った情報源は何ですか。次の中から、あてはまるものを全て選択してください。(複数選択)



### 3. 地域ユーザーを対象とした普及啓発の取組み

- 自治体等が主催する地域イベントへの出展を通じて、地域ユーザーに向けた普及啓発に取り組んでいる。
- 新型コロナ感染拡大防止を図るため、非接触型のオンラインによるアンケートを新たに導入し対応している。

<8/26時点：出展計画と取組み状況>

エリア	開催地	イベント名	開催予定日	出展方法
北海道	札幌市	環境広場さっぽろ2022	7/30-31	リアル
	函館市	函館エコフェスタ	7/30	パネル展示のみ
東北	秋田市	あきたエコ&リサイクルフェスティバル	10/8-9	リアル
関東	東京	エコプロ	12/7-9	リアル
北陸	金沢市	いしかわ環境フェア	8/20-21	リアル
中部	名古屋市	環境デー-なごや中央行事	9/17	リアル
近畿	京都市	京都環境フェスティバル	11月-12月	オンライン
中国 四国	広島市	「環境の日」広島大会	6月-7月	オンライン
九州	福岡市	環境フェスティバルふくおか	10/29-30	リアル
	北九州市	エコライフステージ	11/19-20	リアル
	鹿児島市	環境フェスタかごしま	10/15-16	リアル

#### ①札幌市イベント

- 名称：環境広場さっぽろ
- 主催：札幌市
- 日程：7/30(土)、7/31(日)
- 会場：札幌ドーム
- アンケート回収数：827件



#### ②金沢市イベント

- いしかわ環境フェア
- 主催：(公社)いしかわ環境パートナーシップ県民会議
- 日程：8/20(土)、8/21(日)
- 会場：石川県産業展示館
- アンケート回収数：854件



#### <オンラインによるアンケート>

スマホでQRコードを撮影

アンケート画面表示

アンケートに回答



常設展示施設  
(東京・大阪)  
での普及啓発

6月環境月間の  
期間中、コンクール  
入賞作品の展  
示会を実施



(東京) 科学技術館



(大阪) グリーンエコプラザ

## 4. 小学生等を対象とした学習支援 その1

小学生等を対象とした自動車リサイクルの現場の取組みを紹介する見学会の開催を順次進めている。8月5日、8月19日開催の見学会の情景は、河北新報、日刊自動車新聞などのメディアに掲載され、幅広くユーザーに情報を届けることができた。

### (1) 現場見学会の開催計画と実施状況

観点	ご協力をいただいている関係団体・事業者		見学会開催日	参加者数
製造事業者の取組み	日本自動車工業会	【群馬県】株式会社SUBARU	11/10(木)	調整中
販売事業者の取組み	日本自動車販売協会連合会	【宮城県】宮城スバル自動車株式会社	8/19(金)	実績：28名
オークション会場の取組み	日本中古車販売協会連合会	【北海道】札幌地方中古車販売事業協同組合	8/5(金)	実績：10名
整備事業者の取組み	日本自動車整備振興会連合会	【長崎県】有限会社宮崎自動車整備工場	7/27延期 → 11/30(水)	予定：10名
解体事業者の取組み	日本自動車リサイクル機構	【岡山県】株式会社桃太郎部品	9/22(木)	予定：90名
破砕事業者の取組み	日本鉄リサイクル工業会	【北海道】株式会社鈴木商会	9/6(火)	予定：64名

#### 販売事業者の取組み (8/19)



クルマのリサイクルの座学



金属くず等も分別したら資源

#### オークション会場の取組み (8/5)



クルマの品質検査の見学



模擬オークションの体験

## 4. 小学生等を対象とした学習支援 その2

小学校の学校授業で役立ててもらうため、国民生活を支える自動車産業に関わる人々の循環型社会の実現に向けた努力と工夫の紹介を進めている。今後、小学生新聞への記事掲載も順次進める。

### (2) 記事化した事業者の取り組み

#### 【解体事業者編】

名称：株式会社桃太郎部品  
所在地：岡山県岡山市北区今保661-11

#### 【破碎事業者編】

名称：株式会社鈴木商会  
所在地：北海道石狩市新港中央3丁目750-7

**使える部品を再利用!**

**プラスチックもリサイクル**

**安全な作業と環境の保全**

**巨大な量機が先遣**

**クルマのリサイクル**

解体編

**資源を無駄なく回収!**

**シュレッダーダストも活用**

**高品質な資源に生まれ変わる**

**クルマのリサイクル**

破碎編

記事URL：<https://www.jarc.or.jp/renewal/wp-content/uploads/2022/08/1935aa45dfe5fadfecdc7688a8ef05ca.pdf>

記事URL：<https://www.jarc.or.jp/renewal/wp-content/uploads/2022/08/c8aabdd8b6d51462b29ad3dae06cbcd0.pdf>

## 5. 若年層を対象とした現場見学会を開催

若年層を対象とした自動車リサイクルの「現場・現物・現実」に接する機会となる現場見学会の開催を順次進めている。7月19日開催の見学会の情景は、読売新聞、中日新聞、北國新聞、日刊自動車新聞などのメディアに掲載され、幅広くユーザーに情報を届けることができた。

<現場見学会の開催計画と実施状況>

ご協力をいただいている関係団体・解体事業者	見学会開催日	参加者
【石川県】会宝産業株式会社	7/19(火)	金沢工業大学
【茨城県】カーレポ株式会社	調整中	調整中
【栃木県】株式会社エコアール	11/15(火)	調整中
【福島県】株式会社ナプロアース	11/18(金)	調整中
【宮崎県】株式会社久保田オートパーツ	10/25(火)	調整中

特定非営利活動法人  
RUMアライアンス



### 会宝産業株式会社で開催した見学会の様子 (7/19)



座学の様子



ニブラ重機を使った解体処理



リサイクル部品の品質管理



精緻解体の見学状況

## 6. 若年層を対象とした自動車教習所での取組み

自動車教習生に向けて自動車リサイクルに関する認知を広げる取組みを行っている。  
4月から6月までの3か月間で、運転免許学科教本約15万2千部に自動車リサイクルに関する情報を掲載。  
動画コンテンツを新たに制作し、全国250か所の教習所にて約94万7千回配信した。

### (1) 運転免許学科教本への掲載情報

未来の地球のために!進め!クルマのリサイクル  
循環型社会の実現に向けたクルマのリサイクルの取組みを知ろう!



楽しく学べるクルマのリサイクル  
特設ページ OPEN

自動車リサイクルタウンへ  
行ってみよう!

それぞれの建物では、冊子や映像、リサイクルの現場を  
体験できるツアー、クイズやコンクール作品など  
様々なコンテンツが見られるよ。

ご視聴はこちらから

金属製は原材料に戻して  
様々な製品に使われます。

買ったシュレッダーストは  
ユーザーが支払った  
リサイクル料金を使って  
さらに原材料に戻したり  
資源として再利用されます。

クルマのほとんどを  
リサイクル!

クルマを買うとき  
リサイクル料として  
約6,000-18,000円を支払います。

ユーザーは車を長く  
大切に乗ります。修理のとき  
リサイクル部品を  
使うようになります。

リサイクル部品を使うことのメリット

- 環境負荷軽減
- 資源の削減
- 新部品よりも  
エネルギー使用の  
削減が可能。
- 品質向上
- 新品部品よりも  
信頼が厚い。

ユーザーは使わなくなったクルマを  
引取業者者に引き渡します。

ユーザーが支払ったリサイクル  
料金を使って、フロンガスは回収して  
再利用されます。

まだ使える部品は  
取り外して中古部品として  
流通されます。

ユーザーが支払ったリサイクル料金を使って  
エアバッグ類は取り外して  
処理されます。

詳しくは自動車リサイクル促進センターHPまで

JARC 公益財団法人 自動車リサイクル促進センター <https://www.jarc.or.jp/>

### (2) 配信中の動画コンテンツ

「自動車リサイクル」からのメッセージ クルマを使う私たちの役割

動画URL : <https://www.youtube.com/watch?v=s8CTqSWvas4>



ぐるぐるダンスで自動車リサイクルを学ぼう!

<https://www.jarc.or.jp/dance/>



絵本動画『ゴミ人間ペルとクルマくん』

<https://www.jarc.or.jp/book-video/>



QuizKnockと一緒に自動車リサイクルを学ぼう!

<https://www.jarc.or.jp/quiz/>

# 7. 音・映像による関心を得る取組み

音や映像コンテンツを様々なメディアを組み合わせることで、自動車リサイクルに関して幅広くユーザーの認知拡大・関心喚起を図ることとしている。そしてユーザー理解活動に関する各施策の相乗効果を高め、自動車リサイクル制度におけるユーザーの役割をより身近なものにしていく。

## (1) 音・映像の配信計画

配信エリア	区分	配信期間	放送局、配信帯	延べ接触者数 (想定値)
全国	BS	4月から3月	BSテレビ東京、日経モーニングプラスFTで配信 平日7時の時間帯	4,000万人
関東除く全国	地上	8月	各都道府県における放送局1局又は2局で配信 6時から26時までの時間帯	6,500万人
関東	ラジオ	8月から9月	エフエム東京・TBSラジオ・ニッポン放送で配信 6時から26時までの時間帯	5,000万人



配信動画  
「自動車リサイクル 地球もクルマも回ってる」編

## (2) ラジオ配信用の音源を新たに制作

全世代が知るポピュラーなメロディーを用いることで、記憶に残りやすい音源を2種類制作。

- ① 『自動車リサイクル 駆け巡る資源』篇 :  
運動会の徒競走を連想させる曲調を採用。  
運動会のトラックを駆け巡る様子にリサイクルの取組みを重ね合わせた。
- ② 『自動車リサイクル 地球も資源もくるくるまわる』篇 :  
馴染みのあるワルツの曲調を採用。  
みんなで手を取り合って循環型社会を築いていく様子を描いた。

インターネット・スマホアプリで聴けるラジオ「radiko」でも配信中  
※radiko利用者約890万人の内、約46%の聴取者が関東地域

(音源)

\* 音量には気を付けて再生してください



<https://www.youtube.com/watch?v=nVaZweGPxNk>



<https://www.youtube.com/watch?v=AQNqYuHdVJg>

## 8. 第5回「クルマのリサイクル作品コンクール」入賞校への訪問表彰

2021年度の第5回「クルマのリサイクル作品コンクール」団体特別賞を受賞した「瀬戸内町立池地小学校（鹿児島）」と「恵那市立中野方小学校（岐阜）」の2校を訪問し、表彰を行った。これら表彰式の情景は、南海日日新聞、中日新聞などのメディアに掲載され、幅広くユーザーに情報を届けることができた。

### 【実施概要】



<4/14（鹿児島県）瀬戸内町立池地小学校>



<4/18（岐阜県）恵那市立中野方小学校>

## 9. 活動費の執行状況（第1Q）

2022年4月から6月末（第1Q）までにユーザー理解活動に要した費用は、2,280万円(執行率99.9%)であった。自動車教習所で配信用の新規動画の制作期間が延びたため、一部決算額が計画額を上回ったものの、活動費の執行は計画どおりである。

＜ユーザー理解活動に要した費用の内訳＞

(単位：万円)

#	取組みの目的	施策例	年度 計画額	第1Q		
				計画額 ①	決算額 ②	執行率 ②/①
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 地域ユーザーの知る機会の創出</li> <li>▶ 地域ユーザーの認知拡大・関心喚起</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 地域イベントへの出展・参加</li> <li>▶ 常設展示施設での普及啓発</li> </ul>	2,450	228	227	99.6%
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 小学生の学びの機会の創出</li> <li>▶ 小学生の保護者・教育関係者の認知拡大・関心喚起</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 関係者の努力・工夫を紹介</li> <li>▶ 学校教育に役立つ情報を提供</li> <li>▶ 作品コンクールを開催</li> </ul>	7,250	457	441	96.5%
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 若年層の知る機会の創出</li> <li>▶ 若年層の学びの機会の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 自動車教習所での普及啓発</li> <li>▶ 関係者の努力・工夫を紹介</li> </ul>	2,750	476	752	158.0%
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 各施策の相乗効果を高める取組み</li> <li>▶ 音や映像による認知拡大・関心喚起</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ニュースリリースの積極配信</li> <li>▶ その他のパブリシティ活動</li> </ul>	0	0	0	-
		<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ メディアを通じて音源・動画の配信</li> </ul>	10,680	650	647	99.5%
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 透明性の確保、発信情報の改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 公式ウェブページ等の制作・改善等</li> <li>▶ チラシ・ポスター等の制作・増刷等</li> </ul>	2,970	370	178	48.1%
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 自動車リサイクルの現状や実態の変化等を把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ユーザーの認知状況の把握 他</li> </ul>	100	100	84	84.2%
合 計			26,200	2,281	2,280	99.9%

\*合計額には、人件費・管理費等を含まない。ユーザー理解活動に要した費用は特預金と繰越金から負担される。

<https://www.jarc.or.jp/>